



旭小学校では、3年生（現4年生）が図画工作の時間に、海の生き物を版画にしました。クラス全員の作品を、大きな紙に集めたのが、左の写真です。

それぞれの作品も、よく観察しているのがわかる力作ですが、それが集まると、より素晴らしくなりました。テーマは「旭水族館」です。

子どもたちが、それぞれ気に入った海の生き物を紙版画で作り、プチプチを張り付けてウロコの模様を作るなどの工夫をして仕上げたそうです。図画工作の時間に、海洋教育を取り入れた成果です。岬陽小学校でも、海の生き物の絵を、図画工作の時間に取り入れた例があります。海洋教育の広がりや定着を実感しました。

また、水槽には、不思議な魚が・・・。



南下浦小学校で、ウミホタルを飼っているということで、取材に行きました。

夜行性のため、昼間は砂に潜っています。砂をかき回すと、数ミリの大きさのウミホタルが動き回りました。左の写真に写っているのですが、分かるでしょうか？教員がエサをやると、浮き上がって食べにくるということ

で、暗くなると発光する姿も見られるそうです。

以前紹介した、藻塩作りの成果も掲示されていました。藻塩を使ってべっこう飴も作ったそうです。

お願い 本研究所では、海洋教育写真コンテストを実施するためのクラウドファンディング（インターネット上での募金）を行っています。これが達成されないとコンテストを実施できません。ぜひご協力ください。3000円から参加できます。ご協力いただける方は、本研究所（854-9443）にご連絡くだされば、すぐに対応いたします。クラウドファンディングの内容を知りたい方は、右のQRコードからアクセスできます。



3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。ぜひご活用ください。

（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで